

岡本麻子 *Mako Okamoto*

メシアン *Messiaen piano recital* ピアノリサイタル

2008. 8/9 sat

14:00~15:00(開場 13:00)

会場:奈良県立図書情報館
2階メインエントランスホール

定員150名 応募多数の場合は抽選 **参加無料**

今年には20世紀フランスを代表する作曲家
オリヴィエ・メシアン生誕100周年。

メシアンは、世界中の鳥の声を採譜した鳥類学者でもあり、彼の
作品には、鳥の声随所に出てきます。また、親家で、来日の際
には奈良も訪れ、そのときの印象を作品に残しています。

ピアニスト岡本麻子さんを迎えて

昨年12月に、パリで行われたメシアン国際ピアノコンクールにお
いて第3位に入賞した、新進気鋭のピアニスト岡本麻子さんを迎え、
入賞とともにベスト賞を受賞されたメシアンの代表作のひとつ、「幼
子イエスに注ぐ20のまなざし」のほか、名曲の数々をお楽しみください。

プログラム

モーツァルト デュポールの主題による変奏曲 K.573
ショパン ポロネーズ「英雄」Op.53

メシアン 「幼子イエスに注ぐ20のまなざし」より

- 第5曲 子を見つめる子のまなざし
- 第6曲 御言葉により全ては成されたり
- 第8曲 天のいと高き所のまなざし
- 第19曲 眠っていても私の心は目覚めています
- 第20曲 愛の教会のまなざし

※曲目は、演奏者の都合等により、予告なく変更することがあります。



◇申込み◇
【定員】150名(応募多数の場合は抽選)
 ■往復はがき ■FAX ■メール
 ■来館による申込み(2階カウンター)

7/23(水)必着

※7月24日以降に参加の可否をお知らせします。

◇お問合せ◇
 〒630-8135 奈良市大安寺西1-1000
 TEL.0742-34-2111 FAX.0742-34-2777
 申込み専用メールアドレス koen@library.pref.nara.jp
 いずれも「メシアンピアノリサイタル担当」まで

プロフィール



岡本麻子 おかもと まこ

Mako Okamoto

1996年桐朋女子高等学校ピアノ科卒業。その後、ドイツへ留学。フライブルグ州立音楽大学、同大学院、ケルン音楽大学演奏家コースを最優秀で修了。2004年12月、日本に帰国。これまでに、エピナール、ケルン・ショパン、ロン・ティボー、エリザベート王妃等の世界的に権威ある国際コンクールにおいて1位を含む数々の賞を受賞。2007年12月にはパリにおいてメシアン国際ピアノコンクール第3位入賞。これまでに、仙台フィル、日本フィル、大阪フィル、読売日本交響楽団、東京交響楽団、韓国・仁川フィル、ロレーヌ・フィル、ベルギー国立管弦楽団、フランス国立放送管弦楽団等のオーケストラと共演。又、梅田俊明、西本智美、カルロス・カルマー、ジャック・ラコンブ、ギルバート・バルガ等の指揮者と共演。ヨーロッパ各地の様々な音楽祭に招待され、ソロリサイタルや室内楽の演奏会を行う他、テレビ、ラジオにも出演している。2005年10月には初のソロCD「ドビュッシー練習曲集」をドイツのプレーメンにて録音（発売元：Salycus）。これまでに、竹内啓子、故井上直幸、ミシェル・ペロフ、ディーナ・ヨッフエ、パーヴェル・ギリロフの各氏に師事。現在、京都市立芸術大学非常勤講師。

オリヴィエ・メシアン(1908-1992)

Olivier Messiaen

フランス南部の、アヴィニョンで生まれた。8歳の頃からひとりでピアノと作曲の勉強を始め、11歳でパリ音楽院に入学し、極めて優秀な成績を残した。在学中より多くの作品を残し、1930年頃からはインドのリズム、ギリシアのリズムや鳥の鳴き声などの探求を始め、その影響が作品にあらわれるようになった。1931年にパリのサン・トリネテ大聖堂のオルガニストとなり、そこで彼は即興演奏の技術を確立するとともに、多くの宗教音楽を作曲した。第2次大戦中にはドイツ軍の捕虜となり、1942年にパリに戻ってからは、母校であるコンセルヴァトワールの教授となった。彼はブーレーズ、シュトックハウゼンやクセナキスといった戦後の重要な現代音楽の作曲家達の育ての親であり、戦後の音楽にとっての先駆者的な位置を占めている。

親日家でもあったメシアンは、日本について、文化や自然、景色や人柄、そして和食などについても語っている。メシアンは東京だけでなく、都市部から田舎まで様々な場所を訪れている。軽井沢を訪れた際には、ホトトギスを初めとする日本の鳥の声を採譜した。この他に奈良、山中湖、宮島なども訪れている。雅楽の演奏にも接している。このときの日本旅行の印象は後に「7つの俳諧」(1962)というアンサンブルのための作品にまとめられた。7つの曲からなり、第2曲には、「奈良公園と石灯籠」という奈良での印象をもとにした曲もある。

主な作品に、「前奏曲集」(1929)、「ミのための詩」(1936)、「世の終わりのための四重奏曲」(1941)、「アーメンの幻影」(1943)、「幼児イエズスに注ぐ20のまなざし」(1944)、「トゥーランガリーラ交響曲」(1949)、「鳥のカタログ」(1958)、「我等が主イエス・キリストの変容」(1969)、「峡谷から星たちへ」(1974)、「アッシジの聖フランチェスコ」(1983)、「彼方の閃光」(1991)など。

◇ 申込み ◇

7/23
(水)
必着

【定員】150名(応募多数の場合は抽選) 【参加料】無料(お申込みが必要です)

○7月24日以降に参加の可否をお知らせします。

■往復はがき ■FAX ■メール ■来館による申込み(2階カウンター)

※①郵便番号・住所 ②氏名 ③連絡先電話番号(FAXでのお申込みの場合は、FAX番号もお書きください。)を記入し、「メシアンピアノリサイタル参加希望」と明記してください。また、往復はがきでの申込みの場合は、返信にも送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。 ※1通につき、2名までのお申込みとします。

【お問い合わせ・申込み】

奈良県立図書情報館

〒630-8135

奈良市大安寺西1-1000

TEL.0742-34-2111

FAX.0742-34-2777

申込み専用メールアドレス

koen@library.pref.nara.jp

参加無料(お申込みが必要です)

いずれも

「メシアンピアノリサイタル担当」まで



【交通アクセス】

- 近鉄奈良駅より
奈良交通バス停(8番のりば)から「県立図書情報館行き(22系統)」に乗り、終点。所要時間約20分。
- JR奈良駅より
奈良交通バス停(10番のりば)から「県立図書情報館行き(22系統)」に乗り、終点。所要時間約15分。
- 近鉄新大宮駅より
駅南口バス停から「四条大路南町行き(8系統)」に乗り、県立図書情報館西口下車。徒歩5分。所要時間約15分。

●自家用車利用

国道24号線の柏木町交差点を東に折れ、1つ目の信号を左折。約700メートル先の左手側。
駐車スペース:普通車311台。
1時間までは無料、それ以降は1時間毎に100円。